

# ⊕ 戸田工業株式会社

第87期 定時株主総会

## 招集ご通知



開催日時

2020年6月25日（木曜日）  
午前10時（開場：午前9時）



開催場所

広島市南区京橋町1番4号  
広島グランドインテリジェントホテル 2階  
「芙蓉の間」



議案

- 第1号議案 資本準備金の額の減少の件
- 第2号議案 取締役7名選任の件
- 第3号議案 監査役1名選任の件
- 第4号議案 補欠監査役1名選任の件
- 第5号議案 取締役に対する株式報酬型ストック・オプションとしての新株予約権に関する報酬等に係る行使条件の一部変更の件

### 新型コロナウイルス感染症への対策について

新型コロナウイルス感染症の予防措置として、運営スタッフはマスクを着用させていただく場合がありますので、ご理解くださいますようお願い申し上げます。

株主の皆様におかれましては、感染拡大防止の観点から、本株主総会へのご出席につきましては、株主様の体調にご配慮の上、慎重にご判断いただきますようお願い申し上げます。

本株主総会の運営に変更が生じた場合は、以下の当社ホームページに掲載いたしますので、ご出席の際はご確認くださいませようようお願い申し上げます。

<https://www.todakogyo.co.jp/>

✉ 郵送による議決権行使期限

2020年6月24日（水曜日）午後5時30分まで

|            |       |
|------------|-------|
| 招集ご通知      | P. 1  |
| 株主総会参考書類   | P. 4  |
| （添付書類）事業報告 | P. 16 |
| 連結計算書類     | P. 35 |
| 計算書類       | P. 38 |
| 監査報告       | P. 41 |

証券コード：4100

2020年6月9日

広島市南区京橋町1番23号

戸田工業株式会社

代表取締役社長執行役員 寶來 茂

株 主 各 位

## 第87期定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜りありがたく厚くお礼申し上げます。

この度、当社第87期定時株主総会を下記により開催いたしますので、ご通知申し上げます。

近時、新型コロナウイルス感染拡大防止のため政府や都道府県知事から外出自粛が要請される事態に至っております。この事態を受け、慎重に検討いたしました結果、本株主総会につきましては、適切な感染防止策を実施させていただいた上で、開催させていただくことといたしました。

株主の皆様におかれましては、感染拡大防止の観点から、本株主総会につきましては、極力、書面により事前の議決権行使をいただき、本株主総会へのご出席につきましては、株主様の体調にご配慮の上、慎重にご判断いただきますようお願い申し上げます。

お手数ながら後記の株主総会参考書類をご検討の上、同封の議決権行使書用紙に議案に対する賛否をご表示いただき、2020年6月24日（水曜日）午後5時30分までに到着するようご返送いただきたくお願い申し上げます。

敬 具

### 記

- |                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |             |                                                                         |  |                                         |             |                                                                                                                                                 |
|----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-------------------------------------------------------------------------|--|-----------------------------------------|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>1. 日 時</b>  | 2020年6月25日（木曜日）午前10時                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |             |                                                                         |  |                                         |             |                                                                                                                                                 |
| <b>2. 場 所</b>  | 広島グランドインテリジェントホテル 2階「芙蓉の間」<br>広島市南区京橋町1番4号<br><small>本年は、感染拡大防止のため、座席の間隔を拡げることから、ご用意できる座席が例年より大幅に減少いたします。<br/>そのため、当日ご来場いただいても入場をお断りする場合がございます。あらかじめご了承ください。</small>                                                                                                                                                                                                                                |             |                                                                         |  |                                         |             |                                                                                                                                                 |
| <b>3. 目的事項</b> | <table border="0"><tr><td><b>報告事項</b></td><td>1 第87期（2019年4月1日から2020年3月31日まで）事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件</td></tr><tr><td></td><td>2 第87期（2019年4月1日から2020年3月31日まで）計算書類報告の件</td></tr><tr><td><b>決議事項</b></td><td>第1号議案 資本準備金の額の減少の件<br/>第2号議案 取締役7名選任の件<br/>第3号議案 監査役1名選任の件<br/>第4号議案 補欠監査役1名選任の件<br/>第5号議案 取締役に対する株式報酬型ストック・オプションとしての<br/>新株予約権に関する報酬等に係る行使条件の一部変更の件</td></tr></table> | <b>報告事項</b> | 1 第87期（2019年4月1日から2020年3月31日まで）事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件 |  | 2 第87期（2019年4月1日から2020年3月31日まで）計算書類報告の件 | <b>決議事項</b> | 第1号議案 資本準備金の額の減少の件<br>第2号議案 取締役7名選任の件<br>第3号議案 監査役1名選任の件<br>第4号議案 補欠監査役1名選任の件<br>第5号議案 取締役に対する株式報酬型ストック・オプションとしての<br>新株予約権に関する報酬等に係る行使条件の一部変更の件 |
| <b>報告事項</b>    | 1 第87期（2019年4月1日から2020年3月31日まで）事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |             |                                                                         |  |                                         |             |                                                                                                                                                 |
|                | 2 第87期（2019年4月1日から2020年3月31日まで）計算書類報告の件                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |             |                                                                         |  |                                         |             |                                                                                                                                                 |
| <b>決議事項</b>    | 第1号議案 資本準備金の額の減少の件<br>第2号議案 取締役7名選任の件<br>第3号議案 監査役1名選任の件<br>第4号議案 補欠監査役1名選任の件<br>第5号議案 取締役に対する株式報酬型ストック・オプションとしての<br>新株予約権に関する報酬等に係る行使条件の一部変更の件                                                                                                                                                                                                                                                     |             |                                                                         |  |                                         |             |                                                                                                                                                 |
- 以 上

1. 当日ご出席の際には、お手数ながら同封の議決権行使書用紙を、会場受付にご提出いただきますようお願い申し上げます。  
受付開始時間は午前9時を予定しております。
2. 本定時株主総会招集ご通知に際して提供すべき書類のうち、事業報告の「業務の適正を確保するための体制及びその運用状況の概要」、連結計算書類の「連結注記表」及び計算書類の「個別注記表」につきましては、法令及び当社定款第13条の規定に基づき、インターネット上の当社ホームページ (<https://www.todakogyo.co.jp/>) に掲載しておりますので、本定時株主総会招集ご通知添付書類には記載しておりません。  
従いまして、本定時株主総会招集ご通知添付書類は、監査報告書を作成するに際して、監査役が監査した事業報告、監査役及び会計監査人が監査した連結計算書類及び計算書類の一部であります。
3. 株主総会参考書類、事業報告、連結計算書類及び計算書類の内容について、株主総会の前日までに修正をすべき事情が生じた場合には、書面による郵送または上記当社ホームページにおいて掲載お知らせいたしますので、予めご了承下さい。

《新型コロナウイルス感染拡大防止に伴うお願い》

- ・株主総会当日までの感染拡大の状況や政府等の発表内容等により下記対応を更新する場合がございます。上記の当社ホームページより、発信情報をご確認下さいますよう、併せてお願い申し上げます。
- ・会場受付付近に株主様のためのアルコール消毒液を配備いたします（ご来場の株主様は、マスクの持参・着用をお願い申し上げます）。
- ・会場入口付近で検温をさせていただき、発熱があると認められる方、体調不良と思われる方、海外から帰国されてから14日間が経過していない方は入場をお断りし、お帰りいただく場合がございます。なお、海外から帰国されてから14日間が経過していない株主様は、受付でお申し出いただきますようお願いいたします。
- ・会場では、換気のためドアや窓を開ける等の対応をいたします。
- ・株主総会運営スタッフは、検温を含め、体調を確認の上、マスク着用で対応をさせていただきます。
- ・本株主総会においては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催時間を短縮する観点から、議場における報告事項（監査報告を含みます）及び議案の詳細な説明は省略させていただきます。株主様におかれましては、事前に本招集ご通知にお目通しいただきますようお願い申し上げます。

## (ご参考) 議 決 権 行 使 の ご 案 内

株主総会参考書類（4頁～15頁）をご検討の上、議決権のご行使をお願い申し上げます。

議決権のご行使には以下の2つの方法がございます。

### A 株主総会への出席による議決権行使



同封の議決権行使書用紙を会場受付にご提出下さい。また、第87期定時株主総会招集ご通知（本書）をご持参下さい。

### B 書面による議決権行使



同封の議決権行使書用紙に議案に対する賛否をご表示の上、**2020年6月24日（水曜日）午後5時30分までに到着**するようにご返送下さい。詳しくは、下記をご覧ください。

## 議決権行使書用紙のご記入方法

議決権行使書 株主番号 0000000000 議決権行使票数 0000000000000000

戸田工業株式会社 御中

私は、2020年6月25日開催の貴社第87期定時株主総会（御株主様は本会を含む）における各議案につき、右記（賛否を○印で表示）のとおり議決権を行使します。

2020年 6月 日

| 議案    | 第1号議案 | 第2号議案 | 第3号議案 | 第4号議案 | 第5号議案 | 第6号議案 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 賛否表示欄 | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     |

各議案につき賛否の表示をされない場合は、賛否の表示欄に何も記入して取り扱います。

0000000000

0624400000000000000000 K1T-000000001#

株主総会にご出席の際は、この用紙の右頁を切り離すずにそのまま会場受付にご提出ください。

戸田工業株式会社

こちらに、各議案に対する賛否をご記入下さい。

### 第2号議案

- 全員賛成の場合 → 「賛」 に○印
- 全員否認する場合 → 「否」 に○印
- 一部の候補者を否認する場合 → 「賛」 に○印をし、否認する候補者の番号をご記入下さい。

### 第1号議案・第3号議案・第4号議案・第5号議案

- 賛成の場合 → 「賛」 に○印
- 否認の場合 → 「否」 に○印

# 株主総会参考書類

## 議案及び参考事項

### 第1号議案 資本準備金の額の減少の件

#### 準備金の額の減少の理由

今後の機動的な資本政策の実行を可能とするため、会社法第448条第1項の規定に基づき、資本準備金の額を減少するものであります。減少する資本準備金の額はその他資本剰余金に振り替えたいと存じます。

減少する準備金の額及び準備金の額の減少がその効力を生ずる日は次のとおりであります。

#### (1) 減少する準備金の額

資本準備金 4,234,015,871円のうち2,364,687,222円

#### (2) 準備金の額の減少がその効力を生ずる日

2020年6月26日

## 第2号議案 取締役7名選任の件

取締役全員（7名）は、本総会終結の時をもって任期満了となります。つきましては、取締役7名の選任をお願いするものであります。

なお、取締役候補者の選任につきましては、独立役員を委員の過半数とする任意の指名諮問委員会での審議を経ております。

取締役候補者は、次のとおりであります。

| 候補者<br>番号 | 氏名                                                                | 当社における<br>地位、担当等                    | 当事業年度における<br>取締役会への<br>出席状況 |
|-----------|-------------------------------------------------------------------|-------------------------------------|-----------------------------|
| 1         | たからぎ しげる<br>寶來 茂 <span>再任</span>                                  | 代表取締役社長執行役員<br>・Fine Material事業本部管掌 | 100%<br>(18回中18回)           |
| 2         | おか ひろし<br>岡 宏 <span>再任</span>                                     | 取締役専務執行役員<br>・生産本部・生産技術本部管掌         | 100%<br>(18回中18回)           |
| 3         | つるい てつお<br>釣井 哲男 <span>再任</span>                                  | 取締役執行役員<br>・経営管理本部長 兼<br>内部統制管理責任者  | 100%<br>(18回中18回)           |
| 4         | あおき こうそう<br>青木 功荘 <span>再任</span>                                 | 取締役執行役員<br>・経営企画室・技術・品質保証<br>部管掌    | 100%<br>(18回中18回)           |
| 5         | みずの たかふみ<br>水野 隆文 <span>再任</span> <span>社外</span> <span>独立</span> | 社外取締役                               | 100%<br>(18回中18回)           |
| 6         | まつおか だい<br>松岡 大 <span>再任</span> <span>社外</span>                   | 社外取締役                               | 92%<br>(14回中13回)            |
| 7         | いくしま たろう<br>生嶋 太郎 <span>再任</span> <span>社外</span>                 | 社外取締役                               | 92%<br>(14回中13回)            |

（注）松岡大氏及び生嶋太郎氏は2019年6月25日開催の第86期定時株主総会におきまして新たに取締役に選任されたため、上記取締役会の開催回数が他の取締役候補者と異なっております。

候補者番号

1

たから ぎ しげる  
**寶 来 茂**  
(1960年5月19日生)

所有する当社の株式数 2,300株  
取締役在任年数 7年  
取締役会出席状況 18/18回  
当社との特別の利害関係 なし



再任

### ■ 略歴、当社における地位及び担当

1984年 4 月 当社入社  
2007年 5 月 同 大竹事業所長  
2007年 7 月 同 執行役員  
2012年 4 月 戸田イス CORPORATION代表理事  
2013年 4 月 当社 専務執行役員  
2013年 6 月 同 取締役副社長  
2013年10月 同 代表取締役副社長  
2014年 6 月 同 代表取締役社長  
2019年 4 月 同 Fine Material事業本部管掌（現任）  
2019年 6 月 同 代表取締役社長執行役員（現任）

### 取締役候補者とした理由

寶來茂氏は、長年にわたり研究部門や生産部門等において豊富な業務経験と実績を積み、戸田イス CORPORATIONで培った企業経営に関する見識やグローバルな知見を有しております。また2013年6月からは取締役副社長として、2014年6月からは代表取締役社長として、経営全般にわたる経験も有しており、引き続き当社グループを牽引するうえで適任であると判断し、取締役として選任をお願いするものであります。

### 【取締役候補者から株主の皆様へのメッセージ】

6年前に刷新した経営理念を基に、広島に本社を置き設立100年を越えてなお生々発展し続ける中堅企業たるべく、経営基盤の整備と充実を実行してまいりました。その間にも大国間の摩擦や新型ウイルスの脅威など不測の事態が相次いでいます。さまざまな変化に事業機会を見出しこれに对应していくという社是がまさに重要な社会情勢と再認識いたしております。

3年後には創業200年を迎えますが、多様化する社会的責任を果たし、身の丈に合った経営資源活用と将来を見据えた事業展開を積極的に進め、株主の皆様のご期待に沿えるよう邁進してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

候補者番号

2

お か

岡

(1958年9月10日生)

ひろし

宏

所有する当社の株式数 1,200株  
取締役在任年数 6年  
取締役会出席状況 18/18回  
当社との特別の利害関係 なし



再任

### ■ 略歴、当社における地位及び担当

1981年4月 当社入社  
2010年3月 同 中国事業ビジネス本部長  
2013年10月 同 執行役員  
2014年6月 同 取締役  
2015年4月 同 Global Fine Material事業本部長  
2015年6月 同 常務取締役  
2017年7月 同 生産本部長  
2018年6月 同 専務取締役  
2018年10月 同 生産本部管掌（現任）  
2019年6月 同 取締役専務執行役員（現任）  
2020年1月 同 生産技術本部管掌（現任）

### 取締役候補者とした理由

岡宏氏は、生産部門や営業部門等において豊富な業務経験と実績を積み、中国事業ビジネス本部で培った企業経営に関する見識やグローバルな知見を有しております。また2014年6月から取締役として、2018年6月から専務取締役として経営を担っており、これらの豊富な経験及び能力を活かせるものと判断し、引き続き取締役として選任をお願いするものであります。

### 【取締役候補者から株主の皆様へのメッセージ】

2019年度、株主様には無配をお願いしなければならない状況となり、まずは心よりお詫び申し上げます。ここ数年、戸田工業グループは新しい時代に向けて大きく生まれ変わろうとグループ会社一体となり事業改革を行って参りました。2023年当社は創業200年を迎え大きく飛躍しようとしております。その為には、早期にグローバルの大きな波の中でも強い戸田工業グループにする事が私の大きな責務であると考えております。

日々歩みを緩めず常に変革を行い時代に即した戸田工業グループを構築する為に、社内外の力を結集し早期に復配すべく尽力して参ります。引き続き温かいご支援何卒よろしくお願い申し上げます。

候補者番号

3



再任

つ る い て つ お  
**釣井哲男**

(1961年11月10日生)

|             |        |
|-------------|--------|
| 所有する当社の株式数  | 200株   |
| 取締役在任年数     | 4年     |
| 取締役会出席状況    | 18/18回 |
| 当社との特別の利害関係 | なし     |

**■ 略歴、当社における地位及び担当**

|           |                           |
|-----------|---------------------------|
| 1982年 4 月 | 当社入社                      |
| 2010年 4 月 | 同 大竹工場長                   |
| 2014年 4 月 | 同 執行役員                    |
|           | 同 小野田事業所長 兼 大竹事業所長        |
| 2014年 7 月 | 同 生産本部長                   |
| 2016年 4 月 | 戸田ファインテック(株) 代表取締役社長（現任）  |
| 2016年 6 月 | 当社 取締役                    |
| 2017年 7 月 | 同 経営管理本部長 兼 内部統制管理責任者（現任） |
| 2019年 6 月 | 同 取締役執行役員（現任）             |

**取締役候補者とした理由**

釣井哲男氏は、長年にわたり生産部門に携わり、工場長、事業所長として製造現場を含めた広範囲な管理運営を担い、豊富な業務経験と実績を有しております。また2016年6月から取締役として経営を担っており、これらの経験及び能力を活かせるものと判断し、引き続き取締役として選任をお願いするものであります。

**【取締役候補者から株主の皆様へのメッセージ】**

第87期の決算開示にてお知らせ致しましたとおり、当初の目標から大きく逸脱した決算結果となり、株主の皆様には多大なご心配、ご迷惑をお掛けしましたこと、深くお詫び申し上げます。原材料、物流費の高騰、米中貿易摩擦、昨今の新型コロナウイルス感染症の拡大など、経営を取り巻く環境が急速に悪化したことも事実ではございますが、そもそも戸田工業の稼ぐ力が弱まっていることに根本原因があると考えています。

創業200年に向け、全社一丸となってスピード感を持って各種対処すべき課題に取り組み、重要な経営資源である人財の面から高収益体質への転換に貢献していく所存です。

引き続き、温かいご支援ご指導、何卒宜しくお願い申し上げます。

候補者番号

4



再 任

あ お き こ う そ う  
**青 木 功 荘**  
(1960年5月5日生)

|             |        |
|-------------|--------|
| 所有する当社の株式数  | 200株   |
| 取締役在任年数     | 2年     |
| 取締役会出席状況    | 18/18回 |
| 当社との特別の利害関係 | なし     |

#### ■ 略歴、当社における地位及び担当

|           |                  |
|-----------|------------------|
| 1985年 4 月 | 当社入社             |
| 2014年 4 月 | 同 執行役員           |
| 2014年 7 月 | 同 創造本部長          |
| 2016年 4 月 | 同 理事             |
| 2017年 4 月 | 同 経営企画室長 兼 創造本部長 |
| 2018年 6 月 | 同 取締役            |
| 2019年 4 月 | 同 経営企画室・技術管掌（現任） |
| 2019年 7 月 | 同 取締役執行役員（現任）    |
| 2020年 4 月 | 同 品質保証部管掌（現任）    |

#### 取締役候補者とした理由

青木功荘氏は、長年にわたり研究部門に携わり、豊富な業務経験と実績を活かし、技術部門を統括してきました。また2017年4月から経営企画に携わり、2018年6月から取締役として経営を担っており、これらの経験及び能力を活かせるものと判断し、引き続き取締役として選任をお願いするものであります。

#### 【取締役候補者から株主の皆様へのメッセージ】

2019年度、株主様には無配をお願いする事となり、心よりお詫び申し上げます。グローバルでの社会・市場環境が激しく変化している中、戸田工業は環境変化に対応して事業構造の転換を進めています。昨今の社会環境変化の下、デジタル化の加速、自動車の電動化・自動化という流れに対し、自社技術の活用と外部との連携により、新しい商品・ソリューションの提供ができる形作りを進めています。加えてSDGsが示す社会課題解決に向けた活動など、ESGへの取り組みも積極的に推進しています。サステナブルな社会に必要とされる、力強い戸田工業グループを構築していきたいと思っておりますので、ご支援、宜しくお願い申し上げます。

候補者番号

5

みずのたかふみ

水野 隆文

(1948年2月27日生)

所有する当社の株式数

一株

取締役在任年数

2年

取締役会出席状況

18/18回

当社との特別の利害関係

なし

## ■ 略歴、当社における地位及び担当

1971年 4月 トヨタ自動車工業(株) (現トヨタ自動車(株)) 入社  
 1996年 1月 同 技術統括部長  
 2007年 6月 (株)東海理化 専務取締役  
 2011年 6月 同 顧問  
 2013年 7月 (株)東陽テフニカ 顧問  
 2018年 6月 当社 社外取締役 (現任)

## 社外取締役候補者とした理由

水野隆文氏は、長年にわたりトヨタ自動車(株)の技術部門に携わられ、また(株)東海理化では経営者としての豊富な経験をお持ちです。高い見識・知見に基づき、従来の枠組みにとらわれることのない視点から、引き続き当社の経営の監督と経営全般の助言をしていただけると判断し、社外取締役として選任をお願いするものであります。

- (注) 1. 水野隆文氏は、社外取締役候補者であります。  
 2. 当社は、会社法第427条第1項の規定に基づき、会社法第423条第1項の損害賠償責任を限定する契約を締結することができる旨を定款に規定しており、水野隆文氏との間で責任限定契約を締結しております。同氏の再任が承認された場合は、同氏との間で当該契約を継続する予定であります。当該契約に基づく損害賠償責任の限度額は、社外取締役がその職務を行うにつき善意で重大な過失がないときは、会社法第425条第1項に定める最低責任限度額となります。  
 3. 水野隆文氏は、(株)東京証券取引所の定めに基づく独立役員要件を満たしており、当社は同氏を独立役員として届け出ております。同氏の再任が承認された場合は、当社は引き続き同氏を独立役員とする予定であります。

## 【取締役候補者から株主の皆様へのメッセージ】

2019年度は、会社設立100年となる2033年に向けた「環境ビジョン2033」が、またモノづくりの原点をまとめた「Toda Spirits」が策定されました。これらを大きく前進させる一年として重点テーマ検討会等で他社ベンチマークの重要性、ロードマップの活用を議論し、開発・生産技術の真摯な現場力を頼もしく感じました。経営企画会議・取締役会で成長戦略を支える経営基盤として改革は進展しました。

私は、自動車産業に40年以上従事し、環境安全の先端研究開発・品質確立を推進してきました。社外取締役として、これらの経験から、広範囲な視点と発想で、当社の技術開発、事業成長と企業価値向上に貢献できるよう尽力してまいります。



再任

社外

独立

候補者番号

6

まつおか だい  
**松岡 大**  
(1963年5月13日生)

|             |        |
|-------------|--------|
| 所有する当社の株式数  | 一株     |
| 取締役在任年数     | 1年     |
| 取締役会出席状況    | 13/14回 |
| 当社との特別の利害関係 | (注) 2  |



再任

社外

### ■ 略歴、当社における地位及び担当

|          |                          |
|----------|--------------------------|
| 1991年 4月 | T D K(株)入社               |
| 2016年 1月 | 同 新事業推進室 植物生産法開発グループ担当部長 |
| 2016年 7月 | 同 技術本部本部長                |
| 2017年 6月 | 同 執行役員 技術・知財本部本部長 (現任)   |
| 2019年 6月 | 当社 社外取締役 (現任)            |

### ■ 重要な兼職の状況

T D K(株) 執行役員 技術・知財本部本部長

### 社外取締役候補者とした理由

松岡大氏は、長年にわたりT D K(株)の技術部門、開発部門に携わられ、これまでの経験と幅広い見識・知見を当社の経営の監督に活かし、引き続き当社の取締役会における意思決定の適法性・妥当性を確保するための助言をしていただけると判断し、社外取締役として選任をお願いするものであります。

- (注) 1. 松岡大氏は、社外取締役候補者であります。
2. 当社との特別の利害関係  
T D K(株)は、当社株式を21.86% (持株比率。ただし、当社自己株式335千株を除いた比率であります。) 保有している大株主であり、当社との間には製品販売等の取引関係があります。
3. 当社は、会社法第427条第1項の規定に基づき、会社法第423条第1項の損害賠償責任を限定する契約を締結することができる旨を定款に規定しており、松岡大氏との間で責任限定契約を締結しております。同氏の再任が承認された場合は、同氏との間で当該契約を継続する予定であります。当該契約に基づく損害賠償責任の限度額は、社外取締役がその職務を行うにつき善意で重大な過失がないときは、会社法第425条第1項に定める最低責任限度額となります。

### 【取締役候補者から株主の皆様へのメッセージ】

情報や資金が国の枠を越え、新興市場の発展が益々加速される現在、戸田工業グループは、次なる持続的な成長のための基盤作りに挑戦を続けております。その一つとして、酸化鉄の湿式合成法で培った微細粉体制御技術の強みを電子素材に展開する戦略においては、顧客のニーズをより深く理解することが大切です。2019年度より社外取締役として株主をはじめとするステークホルダーの皆さまを代表させていただいておりますが、自らの電子デバイス設計・開発の経験を活かし、顧客視点で経営トップに対して近視眼的経営に陥らないよう経営を監督して参ります。地球環境への配慮も重要となる昨今、これまで以上に戸田工業グループの新たな価値創造に向け邁進する所存です。

候補者番号

7

い く し ま た ろ う  
**生 嶋 太 郎**  
 (1969年12月9日生)

所有する当社の株式数 一株  
 取締役在任年数 1年  
 取締役会出席状況 13/14回  
 当社との特別の利害関係 (注) 2

### ■ 略歴、当社における地位及び担当

1993年 4月 TDK(株)入社  
 2015年 4月 同 電子部品ビジネスカンパニー経営企画統括部長  
 2017年 4月 同 戦略本部 経営企画グループ ゼネラルマネージャー (現任)  
 2019年 6月 当社 社外取締役 (現任)

### ■ 重要な兼職の状況

TDK(株) 戦略本部 経営企画グループ ゼネラルマネージャー

### 社外取締役候補者とした理由

生嶋太郎氏は、長年にわたりTDK(株)の経営企画に携わられ、経営全般に関する豊富な見識・知見を当社の経営の監督に活かし、引き続き当社の取締役会における意思決定の適法性・妥当性を確保するための助言をしていただけると判断し、社外取締役として選任をお願いするものであります。

- (注) 1. 生嶋太郎氏は、社外取締役候補者であります。  
 2. 当社との特別の利害関係  
 TDK(株)は、当社株式を21.86%（持株比率。ただし、当社自己株式335千株を除いた比率であります。）保有している大株主であり、当社との間には製品販売等の取引関係があります。  
 3. 当社は、会社法第427条第1項の規定に基づき、会社法第423条第1項の損害賠償責任を限定する契約を締結することができる旨を定款に規定しており、生嶋太郎氏との間で責任限定契約を締結しております。同氏の再任が承認された場合は、同氏との間で当該契約を継続する予定であります。当該契約に基づく損害賠償責任の限度額は、社外取締役がその職務を行うにつき善意で重大な過失がないときは、会社法第425条第1項に定める最低責任限度額となります。

### 【取締役候補者から株主の皆様へのメッセージ】

私は2019年6月末に社外取締役として就任いたしました。2019年度の業績は、2018年暮れから始まった世界経済の減速に加え、材料費の高騰、過去に投資した事業の減損などもあいまって、残念な結果に終わりましたが、私がこれまでの業務経験で培ってきた、市場やコーポレート・ガバナンスに対する知見なども活かしながら、今後の戸田工業の企業価値向上に貢献していく所存です。戸田工業から見れば一つ下流にある電子部品メーカーであるTDKとのシナジー創出プロジェクトもスタートしておりますので、株主の皆様におかれましては、今後の戸田工業の進化にご期待いただくと共に、ご支援を宜しくお願い申し上げます。



再 任

社 外

### 第3号議案 監査役1名選任の件

監査役高野幹夫氏は、本総会終結の時をもって辞任されますので、その補欠として監査役1名の選任をお願いいたしたいと存じます。

なお、補欠として選任する監査役の任期は、当社定款の定めにより、退任する監査役の任期の満了する時までとなります。

また、本議案に関しましては、監査役会の同意を得ております。

監査役候補者は、次のとおりであります。



新 任

社 外

独 立

う ら い さ み か ず や  
**浦 勇 和 也**

(1957年11月28日生)

所有する当社の株式数 一株  
当社との特別の利害関係 なし

#### ■ 略歴及び当社における地位

1981年 4 月 (株)住友銀行（現(株)三井住友銀行） 入行  
1993年12月 スイス・ユニオン銀行（現U B S 銀行） 審査部長他  
1997年 5 月 メリルリンチ証券(株) 審査部長他  
2005年 2 月 三洋電機(株) 本社ファイナンシャル・エボリューション・プラン推進本部長他  
2011年 6 月 マーチャント・バンカーズ(株) 代表取締役社長他  
2013年 5 月 (株)加名市 副社長  
2014年 5 月 旭テクノプラント(株) 専務取締役  
2019年 4 月 学校法人九州総合学院 常務理事（現任）

#### ■ 重要な兼職の状況

学校法人九州総合学院 常務理事

#### ■ 社外監査役候補者とした理由

浦勇和也氏は、長年金融機関の審査部門に携わり、また経営者として豊富な経験と幅広い見識を有しており、当社の監査機能の強化を図るため、社外監査役として選任をお願いするものであります。

- (注) 1. 浦勇和也氏は、社外監査役候補者であります。
2. 当社は、会社法第427条第1項の規定に基づき、会社法第423条第1項の損害賠償責任を限定する契約を締結することができる旨を定款に規定しており、浦勇和也氏の選任が承認された場合、同氏との間で当該契約を締結する予定であります。
- 当該契約に基づく損害賠償責任の限度額は、社外監査役がその職務を行うにつき善意で重大な過失がないときは、会社法第425条第1項に定める最低責任限度額となります。
3. 浦勇和也氏は、東京証券取引所の定めに基づく独立役員の要件を満たしており、同氏の選任が承認された場合、当社は同氏を独立役員として届け出る予定であります。

## 第4号議案 補欠監査役1名選任の件

2016年6月29日開催の第83期定時株主総会において選任いただいた補欠監査役の布原正則氏の選任の効力は本総会開始の時までとされておりますので、法令に定める監査役の員数を欠くことになる場合に備え、改めて補欠監査役1名の選任をお願いいたしたいと存じます。

なお、本選任につきましては、監査役就任前に限り、監査役会の同意を得て、取締役会の決議によりその選任を取り消すことができるものとさせていただきます。

また、本議案の提出につきましては、監査役会の同意を得ております。

補欠監査役候補者は、次のとおりであります。



ぬ の は ら ま さ の り

**布原正則**

(1959年2月10日生)

所有する当社の株式数 一株

当社との特別の利害関係 なし

### ■ 略歴及び当社における地位

|           |                                 |
|-----------|---------------------------------|
| 1983年 4 月 | (株)日本メディカルサプライ(現(株)ジェイ・エム・エス)入社 |
| 1993年 7 月 | 当社入社                            |
|           | 同 管理本部経理部財務管理係                  |
| 2007年12月  | 戸田麦格昆磁磁性材料(天津)有限公司 総経理          |
| 2011年 4 月 | 当社 経営管理本部財務経理グループ 専任部長          |
| 2016年 4 月 | 同 経営管理本部財務経理部副部長                |
| 2019年 7 月 | 同 経営管理本部経理・情報システム部長(現任)         |

### 補欠監査役候補者とした理由

布原正則氏は、長年にわたり経理部門において豊富な業務経験と高い知識を積み、戸田麦格昆磁磁性材料(天津)有限公司で培った企業経営に関する見識やグローバルな知見を有しております。これらの専門知識と経験を活かせるものと判断し、引き続き補欠監査役として選任をお願いするものであります。

- (注) 1. 布原正則氏は、常勤監査役の補欠として選任するものであります。
2. 当社は、会社法第427条第1項の規定に基づき、会社法第423条第1項の損害賠償責任を限定する契約を締結することができる旨を定款に規定しており、布原正則氏が常勤監査役に就任した場合は、同氏との間で当該契約を締結する予定であります。
- 当該契約に基づく損害賠償責任の限度額は、監査役がその職務を行うにつき善意で重大な過失がないときは、会社法第425条第1項に定める最低責任限度額となります。

## 第5号議案

# 取締役に対する株式報酬型ストック・オプションとしての新株予約権に関する報酬等に係る行使条件の一部変更の件

## 1. 変更の理由

当社は、2019年6月25日開催の取締役会において、執行役員制度を導入することを決議いたしております。このたび、当該執行役員を株式報酬型ストック・オプション報酬の対象へ加えることに伴い、すでにご承認いただいております2015年6月26日開催の第82期定時株主総会における第6号議案「取締役に対する株式報酬型ストック・オプションに関する報酬等の具体的な内容決定の件」の決議内容を一部変更したいと存じます。変更する箇所及び変更の内容は、次のとおりであります。

なお、当社の現在の取締役は7名（うち社外取締役3名）であります。第2号議案が原案通り承認可決されますと、取締役の員数は7名（うち社外取締役3名）となる予定です。本制度につきましては、社外取締役を対象とするものではありません。

## 2. 変更の箇所及び内容

（下線は、変更部分を示します。）

| 変更前                                                                                                                                                                              | 変更後                                                                                                                                                                                         |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>6. 新株予約権の行使条件</p> <p>新株予約権者は、当社の<u>取締役の地位を喪失した日の翌日から10日（10日目が休日に当たる場合には翌営業日）</u>を経過する日までの間に限り、新株予約権を一括してのみ行使できるものとする。その他の新株予約権の行使条件については、新株予約権の募集事項を決定する取締役会において定めるものとする。</p> | <p>6. 新株予約権の行使条件</p> <p>新株予約権者は、当社の<u>取締役及び執行役員のいずれの地位をも喪失した日の翌日から10日（10日目が休日に当たる場合には翌営業日）</u>を経過する日までの間に限り、新株予約権を一括してのみ行使できるものとする。その他の新株予約権の行使条件については、新株予約権の募集事項を決定する取締役会において定めるものとする。</p> |

以 上

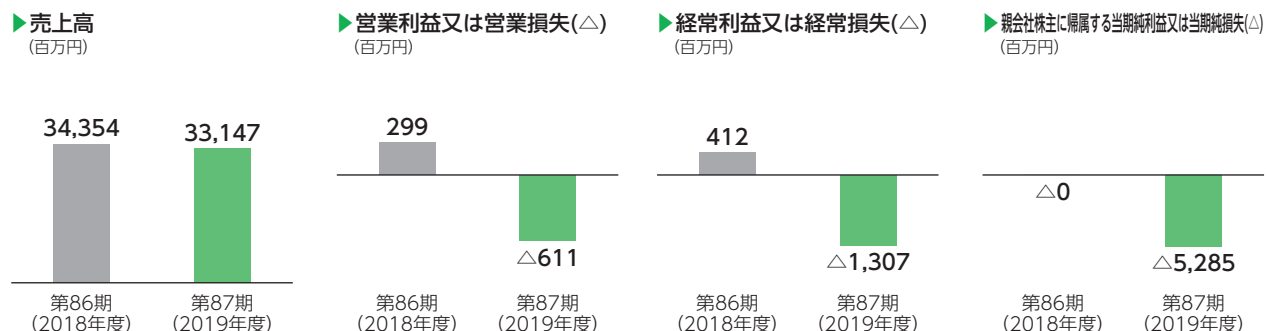
## 1. 企業集団の現況に関する事項

### (1) 事業の経過及びその成果

当連結会計年度における当社グループを取り巻く事業環境は、米中間の貿易摩擦や中国経済の減速、英国のEU離脱問題等を背景に不透明な状況で推移してきましたが、さらに年明け以降、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、金融市場では動揺が続くとともに、個人消費や企業活動の自粛が始まる等、経済・社会活動は停滞しており、世界経済の減速懸念は一層高まる状況となりました。

こうした状況のもと、当社グループにおきましては、リチウムイオン二次電池市場拡大に伴う需要の増加により、電池関連材料の売上が伸長しているものの、中国をはじめとする世界経済の減速の影響等を受け、基幹事業である磁石材料及び着色材料の国内外の需要が低迷したことから、売上高は33,147百万円（前期比3.5%減）となりました。

利益面におきましては、売上商品構成の変化による限界利益の減少等により、営業損失は611百万円（前期は営業利益299百万円）となりました。営業外収支については、持分法適用関連会社において固定資産の減損を行ったこと等の影響により、持分法による投資損失663百万円を計上したこと等から、経常損失は1,307百万円（前期は経常利益412百万円）となりました。また、特別損失において、電子素材事業の固定資産における減損損失2,592百万円、環境対策引当金繰入額1,094百万円等があり、親会社株主に帰属する当期純損失5,285百万円（前期は親会社株主に帰属する当期純損失0百万円）となりました。

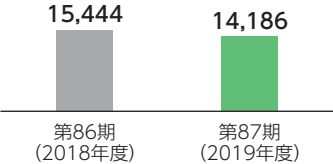


セグメント別の状況は、次のとおりであります。

■ 機能性顔料

世界経済の減速の影響等を受け、国内外の需要が低迷したことから、売上高は前期比8.1%減の14,186百万円となり、セグメント利益は前期比26.0%減の1,491百万円となりました。引き続き販路拡大及びコスト削減を進めて環境の変化に対応してまいります。

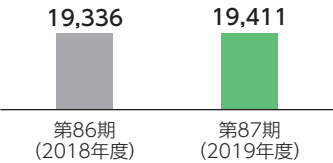
▶ 売上高 (百万円)



■ 電子素材

基幹事業である磁石材料等の需要が低迷したものの、リチウムイオン二次電池市場拡大に伴う需要の増加により、電池関連材料の売上が伸長したことから、売上高は前期比0.4%増の19,411百万円となりました。セグメント利益については、需要の増加に伴い、工場の生産性が向上したこと等から、前期比65.5%増の786百万円となりました。今後につきましても環境変化の激しい市場動向を注視し、当社グループでの生産体制を整備することで機会損失を防ぎ、さらなる拡大を目指してまいります。

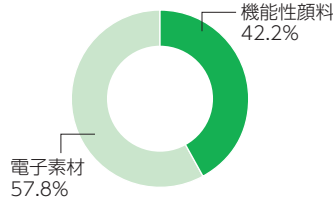
▶ 売上高 (百万円)



セグメント別売上高

| セグメントの名称  | 金額 (百万円) | 構成比 (%) |
|-----------|----------|---------|
| 機 能 性 顔 料 | 14,186   | 42.2    |
| 電 子 素 材   | 19,411   | 57.8    |

▶ 構成比

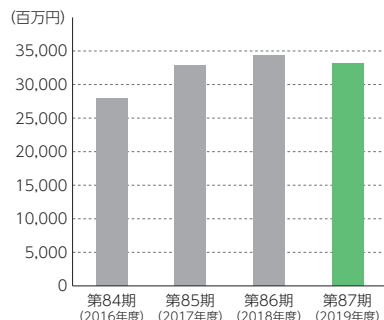


## (2) 財産及び損益の状況の推移

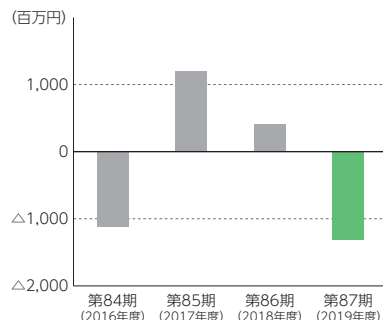
| 区分                              | 第84期<br>2016年度 | 第85期<br>2017年度 | 第86期<br>2018年度 | 第87期<br>(当連結会計年度)<br>2019年度 |
|---------------------------------|----------------|----------------|----------------|-----------------------------|
| 売上高 (百万円)                       | 27,889         | 32,781         | 34,354         | 33,147                      |
| 経常利益又は経常損失(△) (百万円)             | △1,116         | 1,195          | 412            | △1,307                      |
| 親会社株主に帰属する当期純利益又は当期純損失(△) (百万円) | △2,926         | 981            | △0             | △5,285                      |
| 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)       | △508円13銭       | 170円43銭        | △0円08銭         | △917円09銭                    |
| 総資産 (百万円)                       | 46,356         | 47,918         | 48,262         | 43,870                      |
| 純資産 (百万円)                       | 18,029         | 19,542         | 18,408         | 12,590                      |
| 1株当たり純資産額                       | 2,954円46銭      | 3,194円17銭      | 3,021円81銭      | 1,997円25銭                   |

(注) 1. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失は、期中平均発行済株式総数により算出しています。  
2. 2017年10月1日付で普通株式10株を1株の割合で株式併合を実施しております。第84期の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失、1株当たり純資産額を算定しております。

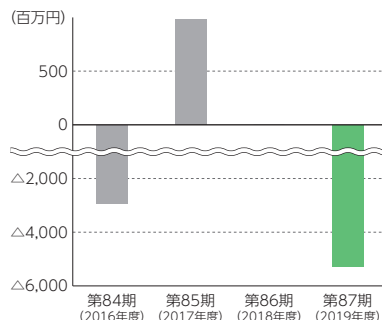
### ▶ 売上高



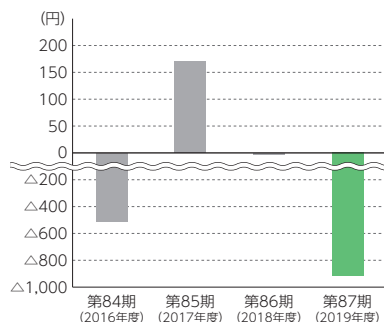
### ▶ 経常利益又は経常損失(△)



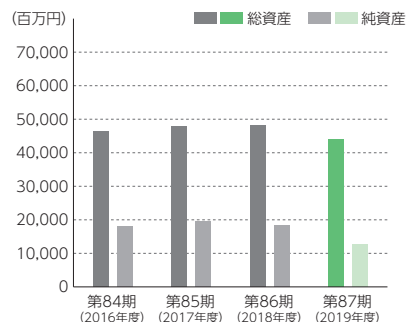
### ▶ 親会社株主に帰属する当期純利益又は当期純損失(△)



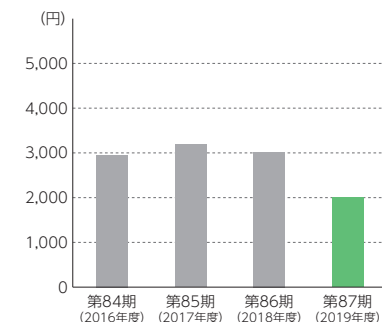
### ▶ 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)



### ▶ 総資産／純資産



### ▶ 1株当たり純資産額



### (3) 対処すべき課題

当社グループは、「事業活動を通じて、社会的な課題解決を支援する」ことを使命とし、社会の課題、時代の最先端ニーズに応えることで成長してまいりました。近年では、素材を通じて自動車やエレクトロニクス等、多くの分野との密接な関係により産業の基盤を支えております。また、これからの社会環境に向けて、次世代自動車の指針CASEに沿った進化や、第5世代移動通信システム(5G)に代表される情報通信分野の急速な進歩等、大きな変化が始まっています。その中で私たちは、お客様の課題を解決するだけでなく、私たち自身の課題にも向き合い、そして将来直面する課題を予測し、素材のチカラ、私たちのチカラ、パートナーのチカラを一つにして解決するとともに、新たな価値を創造してまいります。

現在、2023年の創業200年に向け、またその先も成長していくために目指す姿を示した「Go Beyond 200!」を掲げ、持続的な成長の取り組みを進めております。

創業200年(2023年)、さらにその先へ「Go Beyond 200!」

- ・『安全で効率のよい電子部品』の実現
- ・『持続可能で住みやすい世界』の実現
- ・『地球を掘り返さない方法による環境負荷低減』の実現

また、2020年1月には、より当社の強みを伸ばしていくため、モノづくりの原点をまとめた「Toda Spirits」を策定しました。今後一層社会に貢献する事業活動を行ってまいります。

Toda Spirits ～より良い未来を創造するモノづくり～

- ・安全と安心を優先するモノづくり
- ・顧客と取引先の信頼と満足を追求するモノづくり
- ・一人ひとりの力で改善に挑戦するモノづくり
- ・独創性と市場性を創造するモノづくり
- ・品質の安定・再現、効率を追求するモノづくり
- ・環境に配慮し、グローバルに展開するモノづくり

しかしながら現在、当社を取り巻く事業環境は、新型コロナウイルス感染症の影響により、世界経済、日本経済ともに大きな影響を受けており、各国では大規模な景気対策等の施策を実施しつつありますが、第88期(2020年度)の見通しは、第87期(2019年度)よりさらに厳しい状況が見込まれます。当社グループにおいて、最初に新型コロナウイルス感染症が発生した中国の生産拠点は、再稼働しているものの、世界的な経済及びサプライチェーンの停滞、最終製品を生産しているお客様の稼働が予定より遅れていること等から稼働率は高まっておりません。この状況は日本国内においても今後、同様に推移することが予測され、特に第88期(2020年度)上期は、市場の環境悪化を背景とした受注の減少や後倒し等による厳しい事業環境が続くものと見込んでおります。当社はこの影響を軽減すべく対策に取り組んでおりますが、今後も急速に変化する状況に応じて必要な対策を適宜行ってまいります。

また第87期(2019年度)上期においては、米中貿易摩擦の影響で経済が停滞し、電子素材市場においては、調整局面により需要が鈍化しておりましたが、第87期(2019年度)下期においては、5G関連製品やスマートフォンを中心とした需要回復の兆しがみられており、5Gの普及加速や自動車、家電、産業機器分野のIoT化進展等により、中期的には市場の拡大が見込まれる状況になっていました。今般の新型コロナウイルス感染拡大の影響により、需要回復は遅れておりますが、影響の沈静後は回復に向かうことを見込んでおり、需要拡大に適切に応えていけるよう生産体制を整えてまいります。

このような状況下、当社グループは、「ビジネスの拡大」、「高収益体質の強化」、「経営基盤の充実」をキーワードに、業績のさらなる向上に向けた活動を進めてまいります。具体的には戦略事業として掲げる重要施策に取り組み、原価低減活動や価格是正の取組みを継続して進めるほか、組織改革により、営業力の拡充や事業開発のスピードアップを図り、変化の速い市場に対応していきます。また子会社、持分法適用関連会社の利益拡大による連結業績の回復に取り組んでまいります。さらに、第86期(2018年度)に開始したTDK(株)との資本業務提携により、シナジー創出プロジェクトを開始しており、電子素材事業を中心とした新製品開発の促進や国内外における原材料調達の最適化等、両社のシナジーを生み出していきます。

---

### ＜戦略事業の取組み＞

電子素材事業に含まれる「リチウムイオン電池（L I B）用正極材料」「磁石材料」「誘電体材料」の3事業を戦略事業と定め、取組みの強化を進めております。

L I B用正極材料は、独B A S F等のビジネスパートナーと組み、これまでにグローバルな需要拡大に対応できる体制を整えました。今後は品質と生産性の向上を図りながら事業拡大に取り組んでまいります。

磁石材料は、家電用のモーター向けの製品が中心ですが、今後は自動車用のポンプやセンサー、アクチュエータ等で使用が拡大する見通しであり、ファクトリーオートメーションやドローン市場も視野に開発を進めてまいります。具体的には、過酷環境での使用を睨み高磁力・高耐熱のフェライト磁石やネオジム磁石を開発し、拡販を進めております。

誘電体材料（チタン酸バリウム）は、スマートフォンや電気自動車に多く使われる積層セラミックコンデンサー（M L C C）用途が中心ですが、すでにC A S Eや5 G関連の引き合いもあり、新規市場も視野に入れ開発を進めてまいります。

### ＜持続可能な開発目標（SDGs）への取組み＞

2030年までに国際社会が協力して取り組むべき地球規模の課題をまとめた「持続可能な開発目標」の理念に則り、当社グループ全体で、事業及びガバナンスを通じてSDGsの実現に向けた活動を進めべく、2019年5月に「戸田工業グループ 環境ビジョン2033」を策定し、具体的な数値目標を掲げて環境保全活動に取り組んでおります。具体的には、環境ビジョン2033において掲げる環境経営5本柱の「環境調和型商品、技術の提供」では酸化鉄燃焼触媒「活性フェロキサイド」や土壌浄化高活性鉄化合物「R N I P」等を行っております。また「循環型社会形成への取組み」や「産業廃棄物の有効活用」としては、長年の経験を活かし、無機系を中心に資源再利用にも積極的に取り組んでおります。ガバナンスにおいては、取締役及び執行役員の指名・報酬等に関する手続きの公正性・透明性・客観性を強化し、コーポレート・ガバナンスの充実を図ることを目的として2020年4月に指名・報酬諮問委員会を設置いたしました。その他、内部統制をベースとして、ダイバーシティのさらなる推進や品質向上を目指した人財育成活動等の取組みを進めてまいります。

### 戸田工業グループ「環境ビジョン2033」

- 環境経営5本柱
- (1) 生物多様性への取組み
  - (2) 温室効果ガスの削減
  - (3) 環境調和型商品、技術の提供
  - (4) 循環型社会形成への取組み
  - (5) 産業廃棄物の有効活用

最後に、当社はメーカーとしてお客様のニーズに応える製品を安定継続的に供給することが重要な責務であると認識し、事業活動に取り組んでまいります。そして、今後も会社を生々発展させることを通じて、株主様、お客様、従業員及び地域社会の皆様に対して負っている社会的責任を果たしてまいります。

### 経営理念

私たちグループは、酸化鉄で培った微粒子合成技術を深化させながら、永遠に生々発展します。誠実・信頼を基盤とし創造力と製造力を結集させ、魅力ある独創性に富んだ新素材及びソリューションを通じて、広く社会に貢献します。

---

#### (4) 主要な事業内容

当社グループは、機能性顔料、電子素材の事業を行っておりますが、各事業の内容は以下のとおりであります。

##### 【機能性顔料】

「各種着色材料」は、主として、プリンター用の電子印刷材料、塗料・インク・合成樹脂・建材等の着色材料として使用されております。

「磁性粉末材料」は、主として、コンピューター用のテープやディスクのデジタル記録用材料として使用されております。

##### 【電子素材】

「フェライト材料」は、主として、A V機器、自動車、通信機器、O A機器等の部品である各種コア、マグネット材料及び磁気切符用材料として使用されております。

「電池材料」は、主として、パソコン、携帯電話、ハイブリッド自動車、電気自動車等に使われるリチウムイオン電池用正極材料として使用されております。

## (5) 主要な拠点等 (2020年3月31日現在)

| 名称           | 所在地       | 名称                      | 所在地  |
|--------------|-----------|-------------------------|------|
| 本社           | 広島市南区     | 戸田アメリカIncorporated      | アメリカ |
| 東京OFFICE     | 東京都港区     | 戸田工業ヨーロッパGmbH           | ドイツ  |
| 小野田事業所       | 山口県山陽小野田市 | 戸田アドバンストマテリアルズ Inc.     | カナダ  |
| 大竹事業所        | 広島県大竹市    | 戸田フェライトコリア CO.,LTD.     | 韓国   |
| 創造本部         | 広島県大竹市    | 戸田工業アジア(タイランド) Co.,Ltd. | タイ   |
| 戸田ピグメント(株)   | 岡山市北区     | 戸田塑磁材料(浙江)有限公司          | 中国   |
| 東京色材工業(株)    | 東京都板橋区    | 戸田麦格昆磁磁性材料(天津) 有限公司     | 中国   |
| 戸田ファインテック(株) | 広島県大竹市    | 戸田聯合実業(浙江)有限公司          | 中国   |
|              |           | 戸田磁鉄(深圳)有限公司            | 中国   |

## (6) 重要な子会社の状況

| 会社名                    | 資本金             | 当社の議決権比率<br>(%) | 主要な事業内容        |
|------------------------|-----------------|-----------------|----------------|
| 戸田ピグメント(株)             | 百万円<br>10       | 100.0           | 機能性顔料の製造販売     |
| 東京色材工業(株)              | 百万円<br>12       | 100.0           | 機能性顔料の製造販売     |
| 戸田ファインテック(株)           | 百万円<br>25       | 100.0           | 人材派遣・製造請負      |
| 戸田アメリカIncorporated     | 千USD<br>24,694  | 100.0           | 電子素材の販売        |
| 戸田工業ヨーロッパGmbH          | 千EUR<br>766     | 100.0           | 当社グループ製品等の仕入販売 |
| 戸田アドバンストマテリアルズInc.     | 千CAD<br>46,345  | 100.0           | 電子素材の製造販売      |
| 戸田フェライトコリアCO.,LTD.     | 百万KRW<br>10,786 | 100.0           | 電子素材の製造販売      |
| 戸田工業アジア（タイランド）Co.,Ltd. | 千THB<br>205,200 | 100.0           | 電子素材の製造販売      |
| 戸田塑磁材料（浙江）有限公司         | 千CNY<br>36,973  | 100.0           | 電子素材の製造販売      |
| 戸田麦格昆磁磁性材料（天津）有限公司     | 千USD<br>4,500   | 67.0            | 電子素材の製造販売      |
| 戸田聯合実業（浙江）有限公司         | 千CNY<br>25,000  | 60.0            | 機能性顔料の製造販売     |
| 戸田磁鉄（深圳）有限公司           | 千CNY<br>14,432  | 100.0           | 電子素材の製造販売      |

(注) 当社の連結子会社は、上記の重要な子会社を含め16社になります。また、当期の連結業績については、16頁の「(1) 事業の経過及びその成果」に記載のとおりとなります。

## (7) 資金調達の状況

当連結会計年度中において、金融機関から短期借入及び長期借入の資金調達を行っており、当連結会計年度末の借入金残高は、21,503百万円となっております。

## (8) 設備投資等の状況

当連結会計年度中に実施した設備投資の総額は、1,192百万円であり、主なものは次のとおりとなります。

当連結会計年度中に完成・取得した主要な設備

|        |         |
|--------|---------|
| 小野田事業所 | 機能性顔料設備 |
| 小野田事業所 | 電子素材設備  |

## (9) 企業集団の使用人の状況

| セグメントの名称 | 機能性顔料 | 電子素材 | 共通 | 合計    |
|----------|-------|------|----|-------|
| 使用人数（名）  | 672   | 443  | 73 | 1,188 |

(注) 使用人数は就業人員であります。

## (10) 主要な借入先

| 借入先      | 借入額（百万円） |
|----------|----------|
| (株)広島銀行  | 5,422    |
| (株)山口銀行  | 3,457    |
| (株)みずほ銀行 | 2,611    |
| (株)中国銀行  | 2,380    |

## (11) 事業の譲渡、吸収分割又は新設分割の状況

該当事項はありません。

## (12) 吸収合併又は吸収分割による他の法人等の事業に関する権利義務の承継の状況

該当事項はありません。

## (13) 他の会社の事業の譲受けの状況

該当事項はありません。

## (14) 他の会社の株式その他の持分又は新株予約権等の取得又は処分の状況

該当事項はありません。

## (15) その他企業集団の現況に関する重要な事項

該当事項はありません。

## 2. 会社の株式に関する事項

### (1) 発行可能株式総数

19,300,000株

### (2) 発行済株式の総数

5,763,885株（自己株式335,307株を除く。）

### (3) 株主数

6,263名

### (4) 大株主（上位10名）

| 株主名                                                 | 持株数（千株） | 持株比率（％） |
|-----------------------------------------------------|---------|---------|
| TDK（株）                                              | 1,260   | 21.86   |
| （株）広島銀行                                             | 217     | 3.77    |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行（株）<br>（三井住友信託銀行再信託分・TDK（株）退職給付信託口） | 199     | 3.46    |
| 日本マスタートラスト信託銀行（株）（信託口）                              | 156     | 2.72    |
| 堤 浩二                                                | 150     | 2.61    |
| （株）中国銀行                                             | 120     | 2.08    |
| 高橋 由紀子                                              | 102     | 1.79    |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行（株）（信託口5）                           | 91      | 1.59    |
| 明治安田生命保険（相）                                         | 84      | 1.47    |
| DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO                  | 76      | 1.33    |

（注） 1. 当社は、自己株式335千株を保有していますが、上記大株主から除いております。  
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

### 3. 新株予約権等の状況

#### (1) 当事業年度の末日において当社役員が保有する職務執行の対価として交付された新株予約権の状況

| 発行回数<br>(発行決議日)          | 新株<br>予約権<br>の数 | 新株予約権の<br>目的となる<br>株式の種類と数        | 新株<br>予約権の<br>払込金額                     | 新株予約権の<br>行使に際して<br>出資される<br>財産の価額 | 権利行使期間                       | 役員の保有状況                     |                      |
|--------------------------|-----------------|-----------------------------------|----------------------------------------|------------------------------------|------------------------------|-----------------------------|----------------------|
|                          |                 |                                   |                                        |                                    |                              | 取締役<br>(社外取締役を除く)           |                      |
| 第2回新株予約権<br>(2015年6月26日) | 227個            | 普通株式<br>2,270株<br>(新株予約権1個につき10株) | 新株予約権1個当たり<br>33,000円<br>(1株当たり3,300円) | 新株予約権1個当たり<br>10円<br>(1株当たり1円)     | 2015年7月14日から<br>2045年7月13日まで | 新株予約権の数<br>目的となる株式数<br>保有者数 | 227個<br>2,270株<br>2名 |
| 第3回新株予約権<br>(2016年6月29日) | 329個            | 普通株式<br>3,290株<br>(新株予約権1個につき10株) | 新株予約権1個当たり<br>26,600円<br>(1株当たり2,660円) | 新株予約権1個当たり<br>10円<br>(1株当たり1円)     | 2016年7月15日から<br>2046年7月14日まで | 新株予約権の数<br>目的となる株式数<br>保有者数 | 329個<br>3,290株<br>3名 |
| 第4回新株予約権<br>(2017年6月28日) | 354個            | 普通株式<br>3,540株<br>(新株予約権1個につき10株) | 新株予約権1個当たり<br>30,000円<br>(1株当たり3,000円) | 新株予約権1個当たり<br>10円<br>(1株当たり1円)     | 2017年7月14日から<br>2047年7月13日まで | 新株予約権の数<br>目的となる株式数<br>保有者数 | 354個<br>3,540株<br>3名 |
| 第5回新株予約権<br>(2018年6月27日) | 418個            | 普通株式<br>4,180株<br>(新株予約権1個につき10株) | 新株予約権1個当たり<br>25,990円<br>(1株当たり2,599円) | 新株予約権1個当たり<br>10円<br>(1株当たり1円)     | 2018年7月13日から<br>2048年7月12日まで | 新株予約権の数<br>目的となる株式数<br>保有者数 | 418個<br>4,180株<br>4名 |
| 第6回新株予約権<br>(2019年6月25日) | 711個            | 普通株式<br>7,110株<br>(新株予約権1個につき10株) | 新株予約権1個当たり<br>21,160円<br>(1株当たり2,116円) | 新株予約権1個当たり<br>10円<br>(1株当たり1円)     | 2019年7月11日から<br>2049年7月10日まで | 新株予約権の数<br>目的となる株式数<br>保有者数 | 711個<br>7,110株<br>4名 |

(注) 1. 新株予約権の行使の条件

- ・新株予約権者は、当社の取締役の地位を喪失した日の翌日から10日(10日目が休日に当たる場合には翌営業日)を経過する日までの間に限り、新株予約権を一括してのみ行使できるものとする。
  - ・新株予約権者が死亡した場合、その者の相続人は、新株予約権を一括してのみ行使することができる。
  - ・その他の条件については、当社と新株予約権者との間で締結する新株予約権割当契約に定めるところによる。
2. 2017年10月1日付で普通株式10株を1株の割合で株式併合を行っております。なお、当該株式併合時点において現存する新株予約権の目的となる株式の株及び行使価額については、株式併合の割合に応じて調整を行っております。
3. 2020年3月31日現在において交付時より新株予約権の数が以下のとおり減少しております。
- |          |            |      |
|----------|------------|------|
| 第2回新株予約権 | 権利行使による減少分 | 227個 |
| 第3回新株予約権 | 権利行使による減少分 | 277個 |
| 第4回新株予約権 | 権利行使による減少分 | 298個 |
| 第5回新株予約権 | 権利行使による減少分 | 109個 |

#### (2) 当事業年度中に職務執行の対価として当社使用人等に対し交付した新株予約権の状況

該当事項はありません。

## 4. 会社役員に関する事項

### (1) 取締役及び監査役の氏名等（2020年3月31日現在）

| 氏名      | 会社における地位    | 担当及び重要な兼職の状況                                |
|---------|-------------|---------------------------------------------|
| 寶 來 茂   | 代表取締役社長執行役員 | Fine Material事業本部管掌                         |
| 岡 宏     | 取締役専務執行役員   | 生産本部・生産技術本部管掌                               |
| 釣 井 哲 男 | 取締役執行役員     | 経営管理本部長 兼 内部統制管理責任者<br>戸田ファインテック(株) 代表取締役社長 |
| 青 木 功 荘 | 取締役執行役員     | 経営企画室・技術管掌                                  |
| 水 野 隆 文 | 取締役         |                                             |
| 松 岡 大   | 取締役         | T D K (株) 執行役員 技術・知財本部長                     |
| 生 嶋 太 郎 | 取締役         | T D K (株) 戦略本部 経営企画グループ ゼネラルマネージャー          |
| 中 川 隆 行 | 監査役（常勤）     |                                             |
| 高 野 幹 夫 | 監査役         | 京都大学名誉教授                                    |
| 長谷川 臣 介 | 監査役         | 長谷川公認会計士事務所 代表<br>(株)ヒノキヤグループ 社外監査役         |
| 金 澤 浩 志 | 監査役         | 弁護士法人中央総合法律事務所 パートナー<br>楽天損害保険(株) 社外監査役     |

- (注) 1. 取締役水野隆文氏、取締役松岡大氏及び取締役生嶋太郎氏は、社外取締役であります。
2. 監査役高野幹夫氏、監査役長谷川臣介氏及び監査役金澤浩志氏は、社外監査役であります。
3. 当社は、会社法第427条第1項の規定に基づき、会社法第423条第1項の損害賠償責任を限定する契約を締結することができる旨を定款に規定しており、各社外取締役及び各監査役との間で責任限定契約を締結しております。当該契約に基づく損害賠償責任の限度額は、社外取締役又は監査役が、その職務を行うにつき善意で重大な過失がないときは、会社法第425条第1項に定める最低責任限度額としております。
4. 当社は、取締役水野隆文氏並びに監査役高野幹夫氏、監査役長谷川臣介氏及び監査役金澤浩志氏を(株)東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。
5. 監査役長谷川臣介氏は、公認会計士・税理士の資格を有しており、財務及び会計に関する相当程度の知見を有するものであります。
6. 監査役金澤浩志氏は、弁護士の資格を有しており、企業法務及び法律に関する相当程度の知見を有するものであります。
7. 2019年6月25日開催の第86期定時株主総会終結の時をもって、取締役長瀬光範氏は、任期満了により退任いたしました。
8. 取締役青木功荘氏は、2020年4月1日付で品質保証部管掌を兼務しております。

## (2) 取締役及び監査役の報酬等

### ①当事業年度に係る報酬等の総額

| 区分  | 支給人員 (名) | 支給額 (百万円) | 摘要                   |
|-----|----------|-----------|----------------------|
| 取締役 | 8        | 120       | (うち社外取締役 3 名 12 百万円) |
| 監査役 | 4        | 18        | (うち社外監査役 3 名 10 百万円) |
| 合計  | 12       | 138       |                      |

- (注) 1. 上記の取締役の支給額には、使用人兼務取締役の使用人分給与相当額は含まれておりません。  
 2. 取締役の報酬限度額は、1989年6月29日開催の第56期定時株主総会において、年額180百万円以内（ただし、使用人分給与は含まない。）と決議いただいております。また別枠で、2015年6月26日開催の第82期定時株主総会において、ストック・オプション報酬額として年額50百万円以内と決議いただいております。  
 3. 監査役の報酬限度額は、1982年6月28日開催の第49期定時株主総会において、年額30百万円以内と決議いただいております。  
 4. 上記の報酬等の額には、以下のものが含まれております。  
     ・ストック・オプションによる報酬額14百万円（社外取締役以外の取締役5名にのみ付与）。  
 5. 上記には、2019年6月25日開催の第86期定時株主総会終結の時をもって退任した取締役1名を含んでおります。

### ②当事業年度に支払った役員退職慰労金

当社は、2015年6月26日開催の第82期定時株主総会において、同株主総会終結の時をもって取締役及び監査役の役員退職慰労金制度を廃止し、同株主総会終結後引き続いて在任する取締役及び監査役に対しては、役員退職慰労金制度廃止までの在任期間に対応する役員退職慰労金を各氏の退任時に贈呈することを決議いたしております。

これに基づき、当事業年度末現在における役員退職慰労金打ち切り支給予定額は、取締役2名に対し12百万円、監査役1名（社外監査役）に対し2百万円となっております。

---

### (3) 社外役員に関する事項

#### ① 他の法人等の重要な兼職の状況及び当社と当該他の法人等との関係

- ・取締役松岡大氏は、T D K (株) 執行役員技術・知財本部長であります。T D K (株) は、当社株式を 21.86% (持株比率。ただし、当社自己株式 335 千株を除いた比率であります。) 保有している大株主であり、当社と同社の間には製品販売等の取引関係があります。
- ・取締役生嶋太郎氏は、T D K (株) 戦略本部経営企画グループゼネラルマネージャーであります。当社と T D K (株) との関係は前述のとおりです。
- ・監査役高野幹夫氏は、京都大学名誉教授であります。当社と兼職先との間には特別の関係はありません。
- ・監査役長谷川臣介氏は、長谷川公認会計士事務所代表及び(株) ヒノキヤグループの社外監査役であります。当社と兼職先との間には特別の関係はありません。
- ・監査役金澤浩志氏は、弁護士法人中央総合法律事務所パートナー及び楽天損害保険(株) の社外監査役であります。当社と兼職先との間には特別の関係はありません。

#### ② 当事業年度における主な活動状況

##### イ. 取締役会及び監査役会への出席状況

- ・取締役水野隆文氏は、当事業年度に開催された取締役会 18 回のうち 18 回 (出席率: 100%) 出席しております。
- ・取締役松岡大氏は、2019 年 6 月 25 日就任以降、当事業年度に開催された取締役会 14 回のうち 13 回 (出席率: 92%) 出席しております。
- ・取締役生嶋太郎氏は、2019 年 6 月 25 日就任以降、当事業年度に開催された取締役会 14 回のうち 13 回 (出席率: 92%) 出席しております。
- ・監査役高野幹夫氏は、当事業年度に開催された取締役会 18 回のうち 17 回 (出席率: 94%)、監査役会 8 回のうち 8 回 (出席率: 100%) 出席しております。
- ・監査役長谷川臣介氏は、当事業年度に開催された取締役会 18 回のうち 18 回 (出席率: 100%)、監査役会 8 回のうち 8 回 (出席率: 100%) 出席しております。
- ・監査役金澤浩志氏は、当事業年度に開催された取締役会 18 回のうち 17 回 (出席率: 94%)、監査役会 8 回のうち 8 回 (出席率: 100%) 出席しております。

#### ロ. 取締役会における発言状況

各社外取締役、各社外監査役は、定例取締役会及び臨時取締役会に出席し、専門分野の知識及び見識に基づき意見を述べるとともに、取締役会における決議が法令、定款等に違反するおそれがないかどうか取締役会における適法性、適正性、妥当性等を確保するための提言を行っております。

#### ハ. 監査役会における発言状況

各社外監査役は、定期的開催される監査役会に出席し、監査の方法その他の監査役の職務の執行に関する事項について、意見の表明を行っております。

#### ③ 社外役員の報酬等の総額

社外役員の当事業年度に係る報酬等の総額につきましては、「4. 会社役員に関する事項(2) 取締役及び監査役の報酬等 ①当事業年度に係る報酬等の総額」に記載のとおりであります。

#### ④ 当社の子会社から当事業年度の役員として受けた報酬等の額

該当事項はありません。

---

## 5. 会計監査人の状況

### (1) 会計監査人の名称

有限責任 あずさ監査法人

### (2) 報酬等の額

- |                                  |       |
|----------------------------------|-------|
| ① 当事業年度に係る会計監査人の報酬等の額            | 43百万円 |
| ② 当社及び当社子会社が支払うべき金銭その他財産上の利益の合計額 | 43百万円 |

(注) 1. 当社と会計監査人との間の監査契約においては、会社法に基づく監査と金融商品取引法に基づく監査の監査報酬等の額を明確に区分しておらず、実質的にも区分できませんので、当事業年度に係る報酬等の額にはこれらの合計額を記載しております。  
2. 監査役会は、日本監査役協会が公表する「会計監査人との連携に関する実務指針」を踏まえ、会計監査人の監査計画の内容、会計監査人の職務執行状況及び報酬見積りの算出根拠などが適切であるかどうかについて検討した結果、会計監査人の報酬等につき、会社法第399条第1項の同意を行っております。

### (3) 非監査業務の内容

該当事項はありません。

### (4) 会計監査人の解任又は不再任の決定の方針

監査役会は、法令及び基準等が定める会計監査人の独立性及び信頼性その他職務の遂行に関する状況等を総合的に勘案し、会計監査人の再任又は不再任の決定を行います。

会計監査人の職務の執行に支障がある場合等、その必要があると判断した場合は、監査役会は、株主総会に提出する会計監査人の解任又は不再任に関する議案の内容を決定いたします。また、会計監査人が会社法第340条第1項各号に定める項目に該当すると判断される場合は、監査役会は、監査役全員の同意に基づき、会計監査人を解任いたします。この場合、監査役会が選定した監査役は、解任後最初に招集される株主総会において、会計監査人を解任した旨及びその理由を報告いたします。

なお、取締役会が、会計監査人の職務の執行に支障がある場合等、その必要があると判断した場合は、会計監査人の解任又は不再任を株主総会の会議の目的とすることを監査役会に請求し、監査役会はその適否を判断したうえで、株主総会に提出する議案の内容を決定いたします。

## 6. 会社の体制及び方針

### (1) 業務の適正を確保するための体制及びその運用状況の概要

業務の適正を確保するための体制及びその運用状況の概要につきましては、下記当社ホームページに掲載しております。

<https://www.todakogyo.co.jp/>

### (2) 株式会社の支配に関する基本方針

該当事項はありません。

### (3) 剰余金の配当等の決定に関する方針

当社は、株主の皆様に対する安定的な配当を継続することを最も重視しておりますが、経営成績・内部留保の充実・配当性向等も併せて勘案し、総合的に判断して決定することを基本的な方針としております。

しかしながら、当事業年度の配当につきましては、多額の当期純損失を計上していることから、誠に遺憾ながら期末の配当については見送りとさせていただきます。また、速やかに復配できる体制を整え安定的に利益還元を行えるよう取り組んでまいります。

## 第87期連結貸借対照表 (2020年3月31日現在)

(単位：百万円)

| 科 目       | 金 額    | 科 目           | 金 額    |
|-----------|--------|---------------|--------|
| 〔資産の部〕    |        | 〔負債の部〕        |        |
| 流動資産      | 21,107 | 流動負債          | 18,296 |
| 現金及び預金    | 5,612  | 支払手形及び買掛金     | 3,584  |
| 受取手形及び売掛金 | 8,226  | 短期借入金         | 8,280  |
| 商品及び製品    | 3,775  | 1年内返済予定の長期借入金 | 3,544  |
| 仕掛品       | 1,654  | リース債務         | 19     |
| 原材料及び貯蔵品  | 1,518  | 未払法人税等        | 141    |
| その他       | 326    | 賞与引当金         | 292    |
| 貸倒引当金     | △6     | 環境対策引当金       | 1,095  |
|           |        | その他           | 1,338  |
| 固定資産      | 22,762 | 固定負債          | 12,982 |
| 有形固定資産    | 12,932 | 長期借入金         | 9,678  |
| 建物及び構築物   | 3,061  | リース債務         | 25     |
| 機械装置及び運搬具 | 2,673  | 退職給付に係る負債     | 2,165  |
| 土地        | 6,342  | 繰延税金負債        | 581    |
| リース資産     | 21     | その他           | 531    |
| 建設仮勘定     | 225    | 負債合計          | 31,279 |
| その他       | 608    |               |        |
| 無形固定資産    | 250    | 〔純資産の部〕       |        |
| のれん       | 32     | 株主資本          | 11,227 |
| その他       | 217    | 資本金           | 7,477  |
| 投資その他の資産  | 9,579  | 資本剰余金         | 8,886  |
| 投資有価証券    | 3,487  | 利益剰余金         | △3,624 |
| 関係会社出資金   | 3,492  | 自己株式          | △1,512 |
| 長期貸付金     | 1,715  | その他の包括利益累計額   | 284    |
| その他       | 883    | その他有価証券評価差額金  | 201    |
| 資産合計      | 43,870 | 為替換算調整勘定      | 142    |
|           |        | 退職給付に係る調整累計額  | △58    |
|           |        | 新株予約権         | 49     |
|           |        | 非支配株主持分       | 1,029  |
|           |        | 純資産合計         | 12,590 |
|           |        | 負債純資産合計       | 43,870 |

# 第 8 7 期 連 結 損 益 計 算 書 (2019年 4 月 1 日から2020年 3 月31日まで)

(単位：百万円)

| 科 目                 | 金 額   |        |
|---------------------|-------|--------|
| 売上高                 |       | 33,147 |
| 売上原価                |       | 28,602 |
| 売上総利益               |       | 4,544  |
| 販売費及び一般管理費          |       | 5,156  |
| 営業損失                |       | 611    |
| 営業外収益               |       |        |
| 受 取 利 息             | 46    |        |
| 受 取 配 当 金           | 45    |        |
| 受 取 賃 貸 料           | 36    |        |
| 雑 収 入               | 91    | 218    |
| 営業外費用               |       |        |
| 支 払 利 息             | 214   |        |
| 為 替 差 損             | 21    |        |
| 持 分 法 に よ る 投 資 損 失 | 663   |        |
| 雑 損 失               | 15    | 914    |
| 経常損失                |       | 1,307  |
| 特別利益                |       |        |
| 固 定 資 産 処 分 益       | 96    |        |
| 投 資 有 価 証 券 売 却 益   | 0     |        |
| 受 取 補 償 金           | 44    | 141    |
| 特別損失                |       |        |
| 固 定 資 産 処 分 損       | 51    |        |
| 減 損 損 失             | 2,592 |        |
| 投 資 有 価 証 券 売 却 損   | 0     |        |
| 環 境 対 策 引 当 金 繰 入 額 | 1,094 | 3,738  |
| 税金等調整前当期純損失         |       | 4,904  |
| 法人税、住民税及び事業税        |       | 231    |
| 法人税等調整額             |       | 16     |
| 当期純損失               |       | 5,152  |
| 非支配株主に帰属する当期純利益     |       | 133    |
| 親会社株主に帰属する当期純損失     |       | 5,285  |

招 集 こ 通 知

株 主 総 会 参 考 書 類

事 業 報 告

連 結 計 算 書 類

計 算 書 類

監 査 報 告

## 第87期連結株主資本等変動計算書 (2019年4月1日から2020年3月31日まで)

(単位：百万円)

|                         | 株主資本  |       |        |        |        |
|-------------------------|-------|-------|--------|--------|--------|
|                         | 資本金   | 資本剰余金 | 利益剰余金  | 自己株式   | 株主資本合計 |
| 当期首残高                   | 7,477 | 8,892 | 1,776  | △1,525 | 16,620 |
| 当期変動額                   |       |       |        |        |        |
| 剰余金の配当                  |       |       | △115   |        | △115   |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純損失     |       |       | △5,285 |        | △5,285 |
| 自己株式の取得                 |       |       |        | △1     | △1     |
| 自己株式の処分                 |       | △5    |        | 14     | 8      |
| 株主資本以外の項目の<br>当期変動額（純額） |       |       |        |        |        |
| 当期変動額合計                 | －     | △5    | △5,400 | 13     | △5,392 |
| 当期末残高                   | 7,477 | 8,886 | △3,624 | △1,512 | 11,227 |

(単位：百万円)

|                         | その他の包括利益累計額          |              |                      |                       | 新株予約権 | 非支配株主<br>持分 | 純資産合計  |
|-------------------------|----------------------|--------------|----------------------|-----------------------|-------|-------------|--------|
|                         | その他<br>有価証券<br>評価差額金 | 為替換算<br>調整勘定 | 退職給付に<br>係る調整<br>累計額 | その他の<br>包括利益<br>累計額合計 |       |             |        |
| 当期首残高                   | 340                  | 402          | 46                   | 789                   | 43    | 956         | 18,408 |
| 当期変動額                   |                      |              |                      |                       |       |             |        |
| 剰余金の配当                  |                      |              |                      |                       |       |             | △115   |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純損失     |                      |              |                      |                       |       |             | △5,285 |
| 自己株式の取得                 |                      |              |                      |                       |       |             | △1     |
| 自己株式の処分                 |                      |              |                      |                       |       |             | 8      |
| 株主資本以外の項目の<br>当期変動額（純額） | △139                 | △259         | △105                 | △504                  | 5     | 73          | △425   |
| 当期変動額合計                 | △139                 | △259         | △105                 | △504                  | 5     | 73          | △5,818 |
| 当期末残高                   | 201                  | 142          | △58                  | 284                   | 49    | 1,029       | 12,590 |

# 第 8 7 期 貸 借 対 照 表 (2020年 3 月 31 日現在)

(単位：百万円)

| 科 目           | 金 額    |
|---------------|--------|
| 〔資産の部〕        |        |
| 流動資産          | 13,149 |
| 現金及び預金        | 2,282  |
| 受取手形          | 569    |
| 売掛金           | 5,438  |
| 商品及び製品        | 2,022  |
| 仕掛品           | 1,062  |
| 原材料及び貯蔵品      | 673    |
| 前払費用          | 12     |
| 未収入金          | 164    |
| 短期貸付金         | 647    |
| 1年内回収予定の長期貸付金 | 253    |
| その他の          | 24     |
| 固定資産          | 23,400 |
| 有形固定資産        | 10,093 |
| 建物            | 1,772  |
| 構築物           | 318    |
| 機械及び装置        | 1,987  |
| 車両運搬具         | 1      |
| 工具、器具及び備品     | 113    |
| 土地            | 5,702  |
| 一ス資産          | 6      |
| 建設仮勘定         | 188    |
| 無形固定資産        | 216    |
| 特許権           | 3      |
| ソフトウエア        | 192    |
| その他の          | 20     |
| 投資その他の資産      | 13,090 |
| 投資有価証券        | 1,305  |
| 関係会社株式        | 3,574  |
| 関係会社出資金       | 5,905  |
| 従業員に対する長期貸付金  | 15     |
| 関係会社長期貸付金     | 2,222  |
| 前払年金費用        | 42     |
| その他の          | 73     |
| 貸倒引当金         | △48    |
| 資産合計          | 36,549 |

| 科 目           | 金 額    |
|---------------|--------|
| 〔負債の部〕        |        |
| 流動負債          | 14,026 |
| 買掛金           | 2,214  |
| 短期借入金         | 7,195  |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 3,515  |
| リース負債         | 7      |
| 未払金           | 179    |
| 未払消費税         | 190    |
| 未払法人税等        | 63     |
| 前受り金          | 14     |
| 預り金           | 44     |
| 前受り収益         | 5      |
| 賞与引当金         | 206    |
| 備前未払金         | 200    |
| その他の          | 188    |
| 固定負債          | 12,019 |
| 長期借入金         | 9,555  |
| 繰延税金負債        | 126    |
| 退職給付引当金       | 1,876  |
| 債務保証損失引当金     | 427    |
| その他の          | 34     |
| 負債合計          | 26,046 |
| 〔純資産の部〕       |        |
| 株主資本          | 10,253 |
| 資本金           | 7,477  |
| 資本剰余金         | 8,831  |
| 資本準備金         | 4,234  |
| その他の資本剰余金     | 4,597  |
| 利益剰余金         | △4,542 |
| その他の利益剰余金     | △4,542 |
| 固定資産圧縮積立金     | 86     |
| 繰越利益剰余金       | △4,629 |
| 自己株式          | △1,512 |
| 評価・換算差額等      | 201    |
| その他有価証券評価差額金  | 201    |
| 新株予約権         | 49     |
| 純資産合計         | 10,503 |
| 負債純資産合計       | 36,549 |

招集通知

株主総会参考書類

事業報告

連結計算書類

計算書類

監査報告

# 第 8 7 期 損 益 計 算 書 (2019年 4 月 1 日から2020年 3 月31日まで)

(単位：百万円)

| 科 目                 | 金 額   |        |
|---------------------|-------|--------|
| 売上高                 |       | 20,957 |
| 売上原価                |       | 18,474 |
| 売上総利益               |       | 2,482  |
| 販売費及び一般管理費          |       | 3,659  |
| 営業損失                |       | 1,177  |
| 営業外収益               |       |        |
| 受 取 利 息             | 64    |        |
| 受 取 配 当 金           | 168   |        |
| 受 取 賃 貸 料           | 38    |        |
| 雑 収 入               | 37    | 309    |
| 営業外費用               |       |        |
| 支 払 利 息             | 179   |        |
| 為 替 差 損             | 77    |        |
| 貸 倒 引 当 金 繰 入 額     | 44    |        |
| 債 務 保 証 引 当 金 繰 入 額 | 427   |        |
| 雑 損 失               | 6     | 734    |
| 経常損失                |       | 1,601  |
| 特別利益                |       |        |
| 投 資 有 価 証 券 売 却 益   | 0     |        |
| 固 定 資 産 処 分 益       | 96    |        |
| 受 取 補 償 金           | 44    | 141    |
| 特別損失                |       |        |
| 固 定 資 産 処 分 損       | 50    |        |
| 投 資 有 価 証 券 売 却 損   | 0     |        |
| 関 係 会 社 株 式 評 価 損   | 832   |        |
| 減 損 損 失             | 2,161 | 3,044  |
| 税引前当期純損失            |       | 4,504  |
| 法人税、住民税及び事業税        |       | 39     |
| 当期純損失               |       | 4,544  |

# 第 8 7 期 株 主 資 本 等 変 動 計 算 書 (2019年4月1日から2020年3月31日まで)

(単位：百万円)

|                         | 株主資本  |       |              |             |               |             |             |
|-------------------------|-------|-------|--------------|-------------|---------------|-------------|-------------|
|                         | 資本金   | 資本剰余金 |              |             | 利益剰余金         |             |             |
|                         |       | 資本準備金 | その他<br>資本剰余金 | 資本剰余金<br>合計 | その他利益剰余金      |             | 利益剰余金<br>合計 |
|                         |       |       |              |             | 固定資産<br>圧縮積立金 | 繰越利益<br>剰余金 |             |
| 当期首残高                   | 7,477 | 4,234 | 4,602        | 8,836       | 86            | 30          | 117         |
| 当期変動額                   |       |       |              |             |               |             |             |
| 剰余金の配当                  |       |       |              |             |               | △115        | △115        |
| 当期純損失                   |       |       |              |             |               | △4,544      | △4,544      |
| 自己株式の取得                 |       |       |              |             |               |             |             |
| 自己株式の処分                 |       |       | △5           | △5          |               |             |             |
| 株主資本以外の項目<br>の当期変動額（純額） |       |       |              |             |               |             |             |
| 当期変動額合計                 | －     | －     | △5           | △5          | －             | △4,659      | △4,659      |
| 当期末残高                   | 7,477 | 4,234 | 4,597        | 8,831       | 86            | △4,629      | △4,542      |

(単位：百万円)

|                         | 株主資本   |            | 評価・換算差額等             |                | 新株予約権 | 純資産合計  |
|-------------------------|--------|------------|----------------------|----------------|-------|--------|
|                         | 自己株式   | 株主資本<br>合計 | その他<br>有価証券<br>評価差額金 | 評価・換算<br>差額等合計 |       |        |
| 当期首残高                   | △1,525 | 14,905     | 340                  | 340            | 43    | 15,289 |
| 当期変動額                   |        |            |                      |                |       |        |
| 剰余金の配当                  |        | △115       |                      |                |       | △115   |
| 当期純損失                   |        | △4,544     |                      |                |       | △4,544 |
| 自己株式の取得                 | △1     | △1         |                      |                |       | △1     |
| 自己株式の処分                 | 14     | 8          |                      |                |       | 8      |
| 株主資本以外の項目<br>の当期変動額（純額） |        |            | △139                 | △139           | 5     | △134   |
| 当期変動額合計                 | 13     | △4,652     | △139                 | △139           | 5     | △4,786 |
| 当期末残高                   | △1,512 | 10,253     | 201                  | 201            | 49    | 10,503 |

招集通知

株主総会参考書類

事業報告

連結計算書類

計算書類

監査報告

# 監査報告

## 連結計算書類に係る会計監査人の監査報告

### 独立監査人の監査報告書

2020年5月18日

戸田工業株式会社  
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人  
広島事務所

指定有限責任社員 業務執行社員 公認会計士 高山 裕三 ㊞  
指定有限責任社員 業務執行社員 公認会計士 河合聡一郎 ㊞

#### 監査意見

当監査法人は、会社法第444条第4項の規定に基づき、戸田工業株式会社の2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の連結計算書類、すなわち、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表について監査を行った。

当監査法人は、上記の連結計算書類が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、戸田工業株式会社及び連結子会社からなる企業集団の当該連結計算書類に係る期間の財産及び損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

#### 監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「連結計算書類の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

#### 連結計算書類に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して連結計算書類を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない連結計算書類を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

連結計算書類を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき連結計算書類を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

#### 連結計算書類の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての連結計算書類に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から連結計算書類に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、連結計算書類の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・連結計算書類の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・経営者が継続企業を前提として連結計算書類を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において連結計算書類の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する連結計算書類の注記事項が適切でない場合は、連結計算書類に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・連結計算書類の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた連結計算書類の表示、構成及び内容、並びに連結計算書類が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。
- ・連結計算書類に対する意見を表明するために、会社及び連結子会社の財務情報に関する十分かつ適切な監査証拠を入手する。監査人は、連結計算書類の監査に関する指示、監督及び実施に関して責任がある。監査人は、単独で監査意見に対して責任を負う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去又は軽減するためにセーフガードを講じている場合はその内容について報告を行う。

### 利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

## 計算書類に係る会計監査人の監査報告

### 独立監査人の監査報告書

2020年5月18日

戸田工業株式会社  
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人  
広島事務所

指定有限責任社員 業務執行社員 公認会計士 高山 裕三 ㊞  
指定有限責任社員 業務執行社員 公認会計士 河合聡一郎 ㊞

#### 監査意見

当監査法人は、会社法第436条第2項第1号の規定に基づき、戸田工業株式会社の2019年4月1日から2020年3月31日までの第87期事業年度の計算書類、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表並びにその附属明細書（以下「計算書類等」という。）について監査を行った。

当監査法人は、上記の計算書類等が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、当該計算書類等に係る期間の財産及び損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

#### 監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「計算書類等の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

#### 計算書類等に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して計算書類等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類等を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

計算書類等を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき計算書類等を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

#### 計算書類等の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての計算書類等に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から計算書類等に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、計算書類等の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・計算書類等の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・経営者が継続企業を前提として計算書類等を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において計算書類等の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する計算書類等の注記事項が適切でない場合は、計算書類等に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・計算書類等の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた計算書類等の表示、構成及び内容、並びに計算書類等が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去又は軽減するためにセーフガードを講じている場合はその内容について報告を行う。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

## 監査役会の監査報告

# 監 査 報 告 書

当監査役会は、2019年4月1日から2020年3月31日までの第87期事業年度の取締役の職務の執行に関して、各監査役の監査報告に基づき、監査役全員の一致した意見として、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

### 1. 監査役及び監査役会の監査の方法及びその内容

- (1) 監査役会は、監査の方針、職務の分担等を定め、各監査役から監査の実施状況及び結果について報告を受けるほか、取締役等及び会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。
- (2) 各監査役は、監査役会が定めた監査役監査の基準に準拠し、監査の方針、職務の分担等に従い、取締役、内部監査部門その他の使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、以下の方法で監査を実施しました。
  - ①取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社及び主要な事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。また、子会社については、子会社の取締役及び監査役等と意思疎通及び情報の交換を図り、必要に応じて子会社から事業の報告を受けました。
  - ②事業報告に記載されている取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他株式会社及びその子会社から成る企業集団の業務の適正を確保するために必要なものとして会社法施行規則第100条第1項及び第3項に定める体制の整備に関する取締役会決議の内容及び当該決議に基づき整備されている体制（内部統制システム）について、取締役及び使用人等からその構築及び運用の状況について定期的に報告を受け、必要に応じて説明を求め、意見を表明いたしました。また、子会社については、子会社の取締役及び使用人等からも必要に応じてその構築の状況について報告を受け、説明を求めました。
  - ③会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制」（会社計算規則第131条各号に掲げる事項）を「監査に関する品質管理基準」（平成17年10月28日企業会計審議会）等に従って整備している旨の通知を受け、必要に応じて説明を求めました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書並びに連結計算書類（連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表）について検討いたしました。

## 2. 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査結果

- ①事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- ②取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- ③内部統制システムに関する取締役会決議の内容は相当であると認めます。また、当該内部統制システムに関する事業報告の記載内容及び取締役の職務の執行についても、指摘すべき事項は認められません。

### (2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

会計監査人 有限責任 あずさ監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

### (3) 連結計算書類の監査結果

会計監査人 有限責任 あずさ監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

2020年5月21日

戸田工業株式会社 監査役会

監査役(常勤) 中川 隆 行 印

監査役 高野 幹 夫 印

監査役 長谷川 臣 介 印

監査役 金澤 浩 志 印

(注) 監査役 高野幹夫、監査役 長谷川臣介及び監査役 金澤浩志は、会社法第2条第16号及び第335条第3項に定める社外監査役であります。

以上

## 総会会場のご案内

### ▶ 会場

## 広島グランドインテリジェントホテル 2階「芙蓉の間」

広島市南区京橋町1番4号



### ▶ 交通

- JR／山陽新幹線  
広島駅南口より徒歩約3分
- 広電本線  
広島駅より徒歩約3分

\* 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、株主総会へのご出席に際しましては、ご自身の体調をご確認いただきマスク着用をお願い申し上げます。

\* 株主総会会場において、感染防止のための措置を講じる場合がありますのでご協力賜りますようお願い申し上げます。

UD  
FONT

ミックス  
責任ある水質資源を  
使用した紙  
FSC  
www.fsc.org  
FSC® C022337

VEGETABLE  
OIL INK